とびうめ

No. 2

目 CONTENS 次

会長挨拶 ―― 2
研修報告 ―― 3
新加盟施設紹介 ―― 8

【事業所取り組み紹介】
さいがわ学園、出会いの場ポレポレ、
ほっとスペースあさくら、さくら学園

会　長　挨　拶

福岡県知的障がい者福祉協会会長　木髙　徳典

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。旧年中は一方ならぬ御高配にあずかり誠にありがとうございました。今年も何卒ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。皆様に益々ご繁栄がありますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年の社会福祉法の全面改正により、事業運営・経営、社会福祉法人が社会において果たすべき役割や、その在り方等が大きく見直され、社会福祉法人に対し極めて高い公共性・透明性・倫理性が求められています。また、本年4月より施行される「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の一部を改正する法律」の主な内容は

1. 障害者の望む地域生活の支援
2. 障害児支援のニーズの多様化へのきめ細かな対応
3. サービスの質の確保・向上に向けた環境整備

というものです。障がい児者に係る福祉ニーズは多様化・複雑化し、さらなる専門性が求められています。その一方で、人材不足が現実の大きな問題となっております。さらには、本年行われる報酬改定の内容も徐々に明らかになってきております。決して楽なものではないということだけは確かになってきました。

我々福岡県知的障がい者福祉協会としては、さらなる制度の研鑽、より迅速な情報収集、情報提供に努め、また、会員相互の情報交換や意見交換、関係機関や他種別、地域のありとあらゆる方々との連携を図り、会員の皆様のお役に立てる組織づくりに向けて努力して参ります。会員施設の皆様におかれましては、どうかさらなるご協力をいただきますようお願い申し上げます。

今月の表紙

毎年、白熱した試合が繰り広げられています。

福岡県知的障がい者福祉協会では、毎年4つの球技（ソフトボール、ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ、ティーボール）を「親善球技大会」として開催しています。

利用者の高齢化等により、以前に比べて参加施設は少なくなりましたが、優勝目指して真剣に試合に臨む姿に、応援にも力が入ります。

Report

研修報告

REPORT

第一回施設長研修会

平成29年 5月19日(金)

ANAクラウンプラザホテル福岡において、平成29年度第一回施設長研修会を開催しました。

最初に「『福岡県障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例』について」と題して、福岡県福祉労働部障がい福祉課 多田眞哉氏から、行政説明をいただきました。次に、「人材育成・定着と労働契約法改正に向けての対応」について、小川社会保険労務士事務所 小川美也子氏より講義をいただきました。行政説明、講義、共に、管理者にとって、いま必要な福岡県からの情報、労務管理に関する情報を聞くことができ、充実した施設長研修でした。

新任職員研修会

平成29年 7月5日(水)～6日(木)

入社3年未満の新任職員を対象とした研修会を開催し、2日間で80名の参加がありました。

午前中は「職員としての接遇・マナー」について㈱NCBリサーチ&コンサルティング 吉田美穂氏に講義いただき、福祉の業務においても重要な挨拶・礼儀・コミュニケーション力向上を中心にグループワークも取り入れながら学びました。

午後からは「権利擁護について」と題し施設職員に求められる障がい当事者への権利擁護意識について当協会権利擁護委員会が講義を行いました。「職員倫理綱領」と併せ説明を受けた後、グループワークでそれぞれの悩みや疑問を発表し、委員会からのアドバイスを受けました。

福祉関係職員として必要な接遇マナー、権利擁護について学ぶとともに、1日を通して他施設・事業所の職員と交流することができ、今後の支援に繋がる研修会となりました。

第50回九州地区知的障害関係施設職員研修大会(福岡大会)

平成29年 7月20(木)～21日(金)

ホテルニューオータニ博多において第50回九州地区知的障害関係施設職員研修大会(福岡大会)を、当協会が当番県として開催しました。

今大会は50回目の節目の大会となり、大会テーマとして『50回記念大会 未来の福祉へつなげよう～みんなの「生きる」を支えるために～』を掲げ、大会には九州各県より660名余の方々にご参加いただきました。

「社会福祉法人制度の改革」「福祉人材確保の促進」を柱とする改正社会福祉法が全面施行される中、現場で働く職員に今求められるもの、先人が築き上げた思いのバトンを受け継ぎ、未来の福祉を担う人材に伝えていかなければならないものは何なのか、全体会と6つの分科会に分かれて学びました。

参加者の皆様は勿論、大会運営にご協力いただきました協会会員の皆様に改めて感謝申し上げます。

九州地区で開催された研修等

第43回九州地区地域生活者交流会(宮崎大会)	7月15日・16日
第57回九州地区知的障害関係施設長等研究大会(大分大会)	10月5日・6日
九州地区知的障害者福祉協会児童発達支援部会(沖縄大会)	10月12日・13日
第35回九州地区知的障害者施設親善球技大会(熊本大会)	11月10日・11日
九州地区知的障害者福祉協会障害者支援施設部会研修会(宮崎大会)	11月30日・12月1日
九州地区知的障害者日中活動支援部会研修会(鹿児島大会)	平成30年 2月22日・23日

九州地区知的障害者福祉協会では、毎年多くの事業を開催しています。ぜひご参加ください！

社会福祉法人 犀川学園

障害者支援施設　さいがわ学園

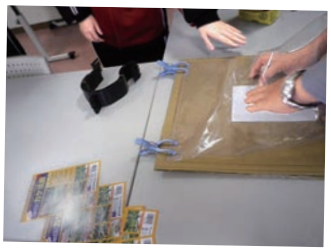
〒824-0225　京都郡みやこ町犀川大阪1194番地9
TEL 0930-42-2496　FAX 0930-45-6072
HP http://www.saigawa-gakuen.net/gakuen/

障害者支援施設 さいがわ学園は、障がいのある人たちが地域でふつうの暮らしができることを目的とし、その人らしい自立した生活が送れるようにサポートしています。

事業内容は、生活介護60名、施設入所支援50名（ショートステイ・日中一時支援6名）です。平成24年にはGHさいがわ（14名）、平成26年には相談支援事業所 さいがわを開設しました。

日中活動では、生産活動やレクリエーション活動、歯科衛生士による口腔ケア指導や作業療法士によるリハビリ体操などを行っています。また、毎月の行事（イベント）の充実、毎月実施している買い物支援等、個々の希望に沿った内容を検討し「個別支援」に生かせるよう取り組んでいます。

地域との交流として地区の清掃活動や、地域の産業祭などにも参加し地域に根付いた施設を目指し、利用者の方々の笑顔あふれる場所でありたいと思っています。



社会福祉法人 拓く

出会いの場ポレポレ

〒830-0071　久留米市安武町武島468-2
TEL 0942-27-2039　FAX 0942-27-2086
HP http://www.h-polepole.com

出会いの場ポレポレ

出会いの場ポレポレは、誰もが地域で当たり前に暮らすことをめざして平成13年９月１日に通所授産施設として開所しました。ポレポレでは、パンや菓子作りを主な活動とし、チラシづくりから生産、販売まで誰もが役割を担い地域に出かけていきます。また、送迎や余暇活動、旅行の際は、基本公共交通機関やタクシーを利用。ドライバーやご本人が慣れていくことで、利用者一人での移動が可能となりました。

また、ポレポレ祭りでは地域住民や学生、園児から高齢者までボランティア総数400名が、年に１度顔を合わせ力を出し合い、祭りを開催しています。日頃から、地域行事に積極的に参加したり、地元の小学生や幼稚園児との交流も大切にしています。地域の方々と助け合い、支え合える関係性を築くことを大切にしています。

毎年、およそ3,000人のお客様に遊びに来ていただいています。

タクシーを使って外出

事業所取り組み紹介

～あんなことこんなこと～

社会福祉法人 善正会

ほっとスペースあさくら

〒838-0205朝倉郡筑前町三並1140
TEL 0946-42-1360　FAX 0946-42-1368
HP http://www.zenseikai.jp/

平成11年10月に「夜須学園」として開所し19年目を迎えました。当初は授産施設として木工作業を中心に活動を行ってまいりましたが、年々商品の開発や販売において過渡期を感じ、4年ほど前に思い切って活動の方針転換を行いました。地域に根付いた施設の特色を生かし、地元の特産物である「朝倉ねぎ」を使用したドレッシングやジェノベーゼを製造。その後、新製品の拡大を図り、バーニャカウダやビスコッティ、メレンゲ、ブルドネージュといった当施設の個性あふれた商品開発・販売を行っています。道の駅での常設販売のほか、ショッピングモールや地元企業様のご協力の元、毎月定期販売会も実施させていただくなど、より多くの機会に地域の皆様の目に触れるようにしています。

社会福祉法人 嘉穂の里

障がい者支援施設　さくら学園

〒820-0301　嘉麻市牛隈1712-7
TEL 0948-57-2207　FAX 0948-57-3366
HP http://kahonosato.jp/sakura

社会福祉法人　嘉穂の里　さくら学園は平成９年７月に開設した、生活介護事業（62名）施設入所支援（52名）短期入所（4名）の創設21年目の施設です。

日々の活動は、利用者様のニーズに応え日中活動班を６グループに分け、個々の能力を十分に発揮していただけるように支援しています。

社会生活支援の一環として少人数でのグループ外出、体験実習、買い物、外食、旅行は毎年利用者様の要望を元にニーズに合わせて一泊旅行へ行っており、最近では完全個別の旅行支援も取り入れています。

夏には毎年、近郊の小学校７校を対象とした『ふれあいキャンプ』を開催しており、約30名の小学生が施設内の畑で野菜を収穫し、釜戸に薪で火を起こし、ご飯やカレーの自炊体験を行い、施設内に一泊二日で宿泊しています。

また、法人で行う『秋まつり』には毎回大勢の地域の方々が来園され賑わっています。

今後も地域社会に必要とされる施設を目指し、利用者様、職員が共に楽しく豊かな人生を送れるよう邁進いたします。

Sports スポーツ大会

●利用者の皆さんが頑張ったスポーツ大会の様子や成績などをお知らせします。

第４回
ティーボール大会
平成29年5月24日（水）
雁の巣レクリエーションセンター

ティーボール大会では、各チーム打順や守備と巧妙な戦略が随所にみられる試合や僅差の試合が繰り広げられていました。

試合結果の上位２チームは、11月に熊本県で開催される第35回九州地区知的障害者施設親善球技大会（熊本大会）への出場権を手に入れました。

試合結果	
1位	月の輪学園
2位	若久緑園
3位	グループホームいなみつ

第47回
ソフトボール大会
平成29年5月24日（水）
雁の巣レクリエーションセンター

今年はAパート、Bパートともに６チームずつの参加でした。選手は日ごろの練習の成果を発揮し、最後まで白熱したプレーを見せました。参加施設より派遣いただきました実行委員、審判員、関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。

試合結果		
	Aパート	Bパート
1位	第二・第三白梅学園	清浄学園
2位	若久緑園	周防学園
3位	天心園	第二田川学園

第23回
ソフトバレーボール大会
平成29年６月15日（木）
かすやドーム

第23回ソフトバレーボール大会は、13施設が２パートに分かれ試合開始。白熱した試合と共に応援に来られた方の声援がドーム内に響き渡り、選手の皆さんはとても良い雰囲気の中、試合が行えたことと思います。結果はAパート桂木とくのみ園、Bパート周防学園が優勝し、大会の幕を閉じました。優勝は一つの大きな目標ですが、今後も施設間の親睦を深めていただきながら楽しい大会になることを期待しています。

試合結果		
	Aパート	Bパート
1位	桂木とくのみ園	周防学園
2位	若久緑園	蓮の実団地
3位	清浄学園	なのみ工芸

第４回
グラウンドゴルフ大会
平成29年5月24日（水）
雁の巣レクリエーションセンター

グラウンドゴルフ大会は14施設が参加しました。

年々、競技者も増えレベルアップしている大会ですが、今年も熱い戦いが繰り広げられました。上位２チームは11月の九州大会に参加されました。

試合結果	
1位	笠置寮A
2位	笠置寮B
3位	北野学園

第17回
全国障害者スポーツ大会
平成29年10月28日(土)～30日(月)
愛媛県総合運動公園陸上競技場他

第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔(えがお)つなぐえひめ大会」が開催され、福岡県から木髙徳典団長以下１４７名の選手・役員が参加しました。

台風の影響で、いくつかの競技が中止になるアクシデントもありましたが、選手は県代表というプライドを持って競技し、メダルを獲得した選手の中には涙を浮かべる方もいました。競技に対するひたむきさや熱意に感動させられる大会となりました。

第４回
ときめきスポーツ大会
平成29年９月９日(土)
久留米市総合スポーツセンター他

１１３団体、１６０５名の選手が陸上競技、卓球、ボウリング、フライングディスク等の各種目において熱戦を繰り広げました。大会は、「２０２０年東京パラリンピック」を見据え、競技ルールの一部変更もありましたが、日頃の練習成果を発揮され無事に終了しました。

今大会成績上位者は福岡県代表として「２０１８福井しあわせ元気大会」に出場します。

ハロウィンパーティー２０１７
平成29年10月24日(火)
ホテルマリターレ創世 久留米

９回目となるハロウィンパーティー２０１７を久留米市で開催しました。県内からの参加者だけでなく、今年は沖縄県からも参加をいただきました。

毎回、演奏を快く引き受けていただくモリカズＢＡＮＤさんのエネルギッシュなステージに、参加者も一緒に歌ったり、踊ったりと体全体で楽しさを表現されていました。仮装コンテストでは、各施設趣向を凝らした仮装で、年々レベルが上がってきています。他の施設の方とも親交を深めながら、会場全体で大盛り上がりのパーティーとなりました。

新・加・盟・施・設・紹・介

（平成29年４月～平成29年12月に加盟した施設）

社会福祉法人 悲田院　四箇厚生園

平成27年６月頃、福岡市四箇５丁目に土地が見つかってから動き出した、「一般棟移転新築事業」。様々な方々にご支援をいただき、平成29年６月１日事業を開始しました。事業内容は、施設入所支援(50名)･生活介護(58名)・空床利用型短期入所。引っ越し当初、自分の居室が分からず､何度も他の居室を出入りしていた方も、今は自分の居室で１人部屋を楽しんでいます。

これからも、地域の一員として地域の方と交流を深め、社会生活が楽しめるよう、活動に取り組んでいきます。近くにお越しの際は､是非お立ち寄りください。

▲施設外観①

▲施設外観②

社会福祉法人 悠光会　障害者支援施設　若葉

平成27年11月に障害者支援施設「太陽の園」から分園し、久留米市山本町に障害者支援施設「若葉」として新たに事業を行っています。当施設は、ホテルであった建物を利用し、客室を居室へと改築させ、温泉設備はそのままに特殊浴槽の設置など、新たな生活環境を整え、安心して暮らせる住まいの提供やリハビリ、生産・創作活動に取り組めるよう支援しています。

現在は、生活介護80名と施設入所支援40名のユニット型を採用し、定員７名の短期入所事業も行っています。また、同一敷地内に放課後等デイサービス事業所「芽愛」や相談支援事業所「日陽」があります。

家族と共に、障がいのある人たちが、その人らしい人生の実現のために、常に利用者の目線に立った、質の高い支援が提供できるよう努めていく事を理念とし事業を行っています。

▲施設内での誕生会の食事風景

▲若葉の前で

▲造りに配慮した浴室でゆっくりと温泉を楽しめます

お　知　ら　せ

障害者週間のステッカーを作成しました

福岡県知的障がい者福祉協会では、毎年、１２月３日～９日の障害者週間に各地区でメモ帳配布等の啓発活動を行ってきました。今年は、より多くの県民の皆様に障害者週間を知ってもらおうと啓発方法を見直し、ポスターと車両用ステッカーを作成し、各施設で掲示していただきました。

車両用ステッカー
マグネット仕様になっています

ポスター
デザインは毎年変更しています

【知障協ホームページ】
http://www.fukuoka-chiteki.jp

▶知障協では、ホームページによる情報提供を行っています。随時更新を行い、より良いサイトにしていきますので、何かお気づきの点などがございましたら、事務局までご連絡ください。

とびうめ発行　福岡県知的障がい者福祉協会　会長：木髙　徳典　春日市原町3-1-7　福岡県社会福祉協議会内　TEL092-584-3377